



人と、木と、おけと



4

2024

広報おけと

KETO



祝 卒 業

置戸小学校・置戸中学校・置戸高校 卒業式

3/19 置戸小学校



3/15 置戸中学校



3/1 置戸高校



令和6年度 町政執行方針 (要旨)



私は本年6月、町長として1期目の任期が満了いたします。

任期中には、「まちづくりは、人づくり」を基本理念として、町民の皆さんとともに幸せを実感できるまちづくりに全力を傾注してまいりました。本年度は、第6次置戸町総合計画の前期計画最終年を迎えますが、今後5年間の展望計画も見据えながら、しっかりとまちづくりを進めてまいります。

本年1月1日、新年を迎えた夕刻に発生した能登半島地震は、石川県輪島市ほか新潟県、富山県、福井県と広範囲にわたり甚大な被害をもたらしましたが、改めて自然災害の恐ろしさを実感させられました。いつ発生するかわからない災害から町民の生命と財産を守るため、防災対策の一層の強化を図ってまいります。

今や世界規模の問題となっている地球温暖化に起因する気候変動の解決に向けて、本町は、昨年3月にゼロカーボンシティ宣言を行い、再生可能エネルギー導入戦略を策定いたしました。脱炭素社会の構築を目指すため、庁舎内にゼロカーボン推進本部を設置し、実効性を高める取組を進めて

まいります。

発生から瞬く間に世界各国で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、経済活動やライフスタイルにも多大な影響が及んでおりましたが、昨年5月から感染症上の分類が5類へと引き下げられたことによって、徐々に社会経済活動も活発になってまいりました。

一方、未だ続くロシアによるウクライナ侵攻や中東紛争が及ぼす影響により燃料や資材などの価格高騰は続き、あらゆる物価が上昇するなど依然として大変厳しい財政状況ではありますが、令和6年度予算編成にあたっては、国や道の政策や方針を注視しつつ、重要度・緊急度の高い事業を優先して取り組む予算内容といたしました。

新型コロナウイルス感染症は、やや落ち着いてきたものの、依然として高齢化や人口減少が進むなか、厳しい町政運営が続くであろうと思います。

町民と行政が一体となった「笑顔と夢を未来につなぐまち」の実現に向けて、しっかりと町政に取り組んでまいりますので、町議会議員と町民の皆さんの深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

健康で安心して暮らせるまちづくり

○高齢者保健福祉

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の第8期計画の評価と各種調査結果を分析し、本年度から始まる第9期計画を策定しました。本町の高齢化率は上昇するなか、ますます介護保険サービスの需要は増加し、ニーズは多様化していくことが見込まれることから、今後も適切な保険運営を図るとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせる

よう地域共生社会の実現に向けて、計画目標を達成できるように努めます。

地域密着型サービスとして運営されている通所介護事業所や認知症対応型共同生活介護施設に対し、運営費の補助や利用者の負担軽減を図り、サービスの質の向上と利用促進、安定的な運営への継続した支援を行います。

○地域支援事業

地域包括支援センターを中心に、支え合い活動や集いの場における介護予防活動の推進に努め、複雑化・多様化した問題を抱える方への相談対応など、きめ細かい支援を行います。

○養護老人ホーム・特別養護老人ホーム

指定管理者である社会福祉協議会との連携を密にし、増収に向けた運営により経営の安定化を図るとともに、人材確保やサービスの質の向上が図られるよう引き続き支援を行います。

施設整備では、養護老人ホーム支援室前ホールに空調設備（エアコン）を設置します。

老朽化が著しい特別養護老人ホームの整備や両施設の在り方などについて、受託者や関係機関と引き続き検討を進めます。

○子育て支援事業

子ども・子育て支援事業計画は、第2期の最終年度を迎えますが、未来を担う子どもたちの健やかな成長に向けた環境づくりを進めるため、アンケート調査を実施して町民のニーズを踏まえた第3期計画を策定します。

認定こども園こどもセンターどんぐりは、保育料及び副食費の完全無償化を継続し、多様な子育てニーズに対応した支援の充実を図ります。

○母子保健事業

妊産婦が専門医療機関に受診するための通院費助成と妊産婦健康診査事業を継続するとともに、産後ケア事業の内容拡充を図ります。

○少子化対策

保険適用の特定不妊治療費一部助成に加え、保

険適用外の先進医療不妊治療費用の一部を助成します。

相談支援と経済的支援を一体として実施するため、出産・子育て応援給付金の支給を継続し、安心して出産や子育てができる環境整備を進めます。

○障がい者福祉

心身障がい者の通院や通所、特別支援学校への通学にかかる交通費の助成や、障がいに対する町民の理解や雇用・就労の促進など、社会参加への支援に努めます。

○健康づくりと保健事業

第2期健康増進計画に基づき、乳幼児から高齢者までの健康づくりと疾病予防対策として各種健診や訪問活動などに取り組みます。

予防接種については、帯状疱疹ワクチンの費用助成を実施します。

生活習慣病の予防と疾病の早期発見のため、特定健康診査とがん検診の受診率向上を目指し、関係機関と連携して生活指導や特定保健指導の強化に一層努めます。

○歯・口腔の健康づくり

歯の健康を保つため、全ての世代において歯科健康教育を実施し、虫歯予防に効果的なフッ素・サホライド塗布やフッ化物洗口と歯周病の早期発見のため歯周病検診を実施します。

○地域医療

置戸赤十字病院に対しては、質の高い医療の提供と地域医療充実のための財政支援を継続するとともに、歯科診療所においても引き続き充実した歯科医療の提供に取り組みます。

にぎわいと活気あふれる産業のまちづくり

○農業・畜産関係

道営事業は、拓実北・南地区で農地中間管理機構関連農地整備事業による区画整理、農道整備では、幸岡雄勝線の道路改修を継続します。

団体営土地改良事業は、農業水路等長寿命化・防災減災事業により、常盤地区営農用水施設の機器改修を継続します。

畜産関係は、きたみらい第2地区で公社営草地畜産基盤整備事業による草地整備改良を継続します。酪農対策として、乳用牛雌雄選別精液の活用を促進する酪農経営収益力向上支援事業を実施します。

多面的機能支払事業は、農業用資源や農村環境を守りながら持続的な営農を目標として、農地の

維持や資源の長寿命化などに努め、農業関連施設の保全に向けて取り組みます。

エゾシカやクマなどの野生鳥獣による農林業への被害が年々増加している状況のなか、電気牧柵機器に対する支援を継続するとともに、猟友会の協力を得ながら、有害鳥獣駆除の推進に努めます。

○林業関係

森林環境譲与税を活用した新規担い手の確保や労働環境整備の充実に向けた支援、高性能林業機械などの整備に向けた支援の継続や、森林吸収源対策事業による除間伐の促進を図るとともに、被害地造林を含めた私有林整備を推進します。

町有林は、主伐時期を過ぎた高齢林が多いことから、計画的な森林整備を推進します。

○商工業関係

新規起業家への元気だすべ事業起業応援金など、各種補助制度による支援を行います。人材不足などの課題解決に向けた産業の垣根を超えた意見交換の場として開催した産業会議を継続し、振興策を検討します。

○観光関係

おけと勝山温泉ゆうゆは、売店コーナーの冷蔵庫の購入と設置に伴う一部改修や貴重品ロッカーの更新など、ご来場される多くの方々に満足して

いただけるよう、引き続き支援を行います。

景勝地である鹿の子沢では、訪れる方の安全を確保するため、虹の滝から展望台までの散策路に丸太階段の設置や道道入口にある大看板の塗装などの整備を引き続き実施します。

○オケクラフト関係

昨年度、オケクラフト誕生40周年を迎えましたが、これまでの継続を糧に、一般社団法人おけと森林文化振興協会への支援とオケクラフトの発展に向けた取組を推進します。

ふるさとへの愛着と誇りを育むまちづくり

学校教育では、地域・保護者・学校の連携を今まで以上に強固にし、社会教育では、子どもたちをはじめ全町民に対し生涯学習の推進と学習機会の提供ができる教育環境の構築に、教育委員会と連携して重点的に取り組みます。

置戸高等学校では、支援対策協議会と連携して

これまで以上に全国募集に力を入れ、一人でも多くの生徒が集まるように努めます。

児童館及び放課後児童クラブは、引き続き児童館の開設に向けた検討委員会を設置し、建設に向けた検討を進めます。

快適で安全な暮らしを支えるまちづくり

○防災関係

勝山公民館の停電時電源切替設備工事を実施します。

○消防関係

消防庁舎2階講堂に空調設備（エアコン）を設置します。

○じん芥収集車購入

ごみの効率的な収集を図るため、購入から12年が経過し老朽化したじん芥収集車を更新します。

○道路、橋梁修繕

町道置戸川南境野線の舗装修繕工事を継続します。また、橋梁長寿命化計画に基づき、愛の澤橋の修繕工事を実施します。

○雨水対策

境野地区の頻発する集中豪雨による災害を軽減

するため、排水路や路面排水版を新たに設置するなど、雨水対策工事を実施します。

○簡易水道事業

秋田浄水場の計装機器設備の更新を継続します。

○下水道事業

置戸浄化センターの機器更新に備えて施設の耐震診断を行い、耐震対策の必要性について検討します。

○町営住宅の整備

公営住宅等長寿命化計画に基づき、公進団地2棟4戸及び林友団地2棟4戸の外壁と屋根の大規模改修を実施します。

○耐震改修促進計画関係

住宅や建築物の耐震化を計画的に進めていくため、耐震改修促進計画の見直しを実施します。

未来に向けた持続可能なまちづくり

○地域交通関係

地域巡回バスは、3月末で運行を終了し、新たな町内における移動手段の確保策として、ハイヤー利用料金助成事業を4月から実施します。

バス路線の維持と利用促進を図るため、引き続き、北海道北見バス株式会社が発行する1日バス乗り放題フリーパスチケット購入費用の半額を助成します。

○地域おこし協力隊関係

現在8名の地域おこし協力隊が活動中ですが、本年度中に3年目を迎える隊員が任期満了となることから、今後も町内で活躍してもらえよう環境整備を進め、意欲ある新たな隊員の採用を幅広い分野で行い、地域の活性化に取り組みます。



3月に開催された令和6年第3回置戸町議会定例会で、平野教育長が述べた教育委員会の所管事項に関する主要な方針についてお知らせします。

令和6年度 教育行政方針 (要旨)

学校教育

学校が取り組む一つ目として、9年間の教育課程に「置戸で生きる、未来」を追加し、道徳・学級活動で体系的に取り組みます。二つ目は、年2回実施しているいじめ調査のほかに、Q-Uテストや毎日行うタブレット端末を利用した健康観察を活用し、子どもたちの僅かな心の変化も見逃さないよう努めます。三つ目は、教職員研修の強化です。昨年は「ゲートキーパー研修」を実施しましたが、本年も研修の機会を設け研鑽に努めます。四つ目は、小・中学校において危機管理マニュアルの充実を図り、いかなる事態にも迅速に対応できるよう備えます。

学校運営協議会では、地域が子どもたちを見守ることができないかの議論を重ねています。登下校に限らず日常から子どもたちと垣根を超えて気軽に会話のできる「地域子どもみまもり隊」の組織化を地域コーディネーターを中心に進めます。

○小中一貫教育

本年は「推進期」と位置付けた2年目の最終年となり、合同行事開催に向けた児童生徒の交流の機会を増やすよう取り組みます。

○ICT教育

タブレット端末などが、学校・家庭など様々な場面において、有効に活用が図られています。今後も一層の活用を努めると同時に、ICT関連によるトラブルの未然防止・早期発見・早期対応に努めます。

○特別支援教育

特別な教育的支援を必要とする子どもの数が増加し続けていることから、本年は小学校の特別支援教育支援員を1名増員できるよう取り組みます。また、普通学級においても全ての児童生徒に対し

て高い学習効果が得られるようわかりやすい授業づくりを進めます。

○外国語教育

小学校6年生の英語授業において、中学校教諭が授業の半数を受け持ち、児童の成績評定まで行います。また、引き続き、外国語指導助手を派遣するとともに、小学校高学年・中学生に対し英語検定の無償化を継続し、英語教育の充実に取り組みます。

○読書活動の推進

学校巡回司書が小・中学校を交互に巡回し、読書環境の一層の充実に努めます。また、学校図書館システム及びパソコンの更新を行い、事務処理の効率化を図ります。

○体力向上対策

暑さ対策などに配慮しながら体育の授業や部活動を進めます。中学生の放課後活動の一環として、希望者に対し教員の勤務時間内に限定したスポーツ活動について検討します。

○就学援助

新入学生児童生徒の学用品費を入学前に支給するなどの援助を継続します。

○教職員の働き方改革

中学校において引き続きスクールサポートスタッフを町費で配置するとともに、外部のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど積極的に活用を図り、教職員の負担軽減に努めます。

○学校給食

小・中・高等学校とともに本年1食あたり20円・年間4,000円の値上げに踏み切りますが、これまで以上に工夫を凝らした給食の提供に努めるとともに、「ふるさと給食」の継続を図り、子どもたちの食育事業を推進します。

○置戸高校への支援

「地域みらい留学」の制度を大いに活用し、道外からの生徒募集に積極的に取り組みます。在校生に対して本町で過ごす3年間を人生のなかでも最も印象深い時間となるよう、町民との交流や置戸の自然体験などの機会をさらに増やすことができるよう取り組みます。

社会教育

○公民館活動

各地域の生活課題や地域課題に向き合った活動の推進や地域が一体となった事業などの推進を図り、それぞれの特色を活かした「まちづくり」に向けた体制づくりを進めます。

○社会教育関係団体

文化団体やサークル活動の支援と新規加入、設立を促す公民館教室などの継続的な実施により、時代のニーズを的確に捉え、活発に自主的な活動を行えるよう支援します。

○青少年教育・育成

「ふるさと少年クラブ」や「常呂川ラフティング体験」、「ふるさと教育チャーター事業」、「遺跡発掘体験等授業」など引き続き実施します。

○児童館及び放課後児童クラブ

全ての児童が利用できる新しい児童館の開設に向けた検討委員会を引き続き設置しながら、建設に向けた準備を進めます。

○食のまちづくり推進事業

農業・商業・観光及びオケクラフト分野との連携を図り、役割分担を明確にしながら特産品の開発・商品化に向けた取組を支援します。

栄養士連絡会や食に関する団体などとの連携による各種教室や事業について展開するとともに、引き続き地産地消を含めた食育の普及に努めます。

○郷土資料・文化財関係

学芸員を中心に企画展の開催や郷土資料の保存・整理を行うとともに、ふるさと教育や研修会、講座などの開催により文化財保護や郷土の歴史の継承に努めます。

社会体育

ファミリースポーツセンターのトレーニングルームや健康体操室の活用を促進し、スポーツトレーナー及びインストラクターを継続して配置し

ます。また、定期的な健康教室の実施など、幅広い世代に合わせた健康・体力保持などが楽しくできるようサポートします。

小学校低学年を対象とした「おけとわんぱくクラブ」の開催、少年少女スポーツ教室の開催、スポーツ少年団活動への支援を行います。

パークゴルフの競技人口の拡大を図るため、初心者及び親子、子ども向けの教室の開催、学校の授業に取り入れるなど、学校・関係団体と連携を強め、プレーの楽しさを体感できるような事業の展開を図ります。また、ウルトラパークゴルフ大会は第25回記念大会として開催します。

図書館

「置戸の歴史を語る」の収録を復活し、貴重な置戸の歴史の記憶と記録を後世に残すため、計画的な収録作業に取り組みます。

ファーストブックプレゼント事業を引き続き実施し、親子で読書に親しむ環境づくりに努めます。

令和7年1月には現在の図書館が開館して20周年を迎えます。これまで置戸町立図書館に関わった多くの先達が積み上げてくれた歴史を振り返りつつ、開館20周年記念事業を展開します。

森林工芸館

昨年、オケクラフトが誕生して40周年を迎え、様々な記念事業を実施してきました。40年間の継続を糧に地域ブランドとしてのオケクラフトのさらなる発展に向けた取組を推進します。

作り手養成塾は、ベテランの作り手による講師体制を継続し、これまでの指導経験を十分に活かしながら、より効率的、効果的な指導に努めます。

「すくすくギフト事業」は、誕生したお子さんに「元気にすくすく育てほしい」という願いを込め、オケクラフトの特別セットを贈る事業として引き続き実施します。

「一般社団法人おけと森林文化振興協会」は、設立後10年目を迎えます。インターネットを活用した販売やふるさと納税の主力商品の提供など、流通販売経路の拡大、安定的かつ円滑な材料の供給提供に向けてさらなる連携を図ります。

どま工房は、秋岡コレクションの継続的な活用を図るとともに手仕事文化のさらなる情報発信に努めます。

令和6年度 まちのお金の使いみち

本年度の予算の概要と事業についてお知らせします。

笑顔と夢を未来につなぐまちの実現へ

現在、本町の財政状況は、財政の健全化を示す「実質公債費比率（R4決算～6.4）」や「将来負担比率（R4決算～なし）」から判断すると、健全性が維持されていると言えます。

しかしながら、本町において今後一層進むことが予想される人口減少や国際情勢による燃料や物価の高騰などの影響が見通せない状況からも自主財源の確保は、厳しい状況の中で喫緊の課題となっています。

国における令和6年度の地方財政対策では、地方交付税などの一般財源総額が前年度を上回る額で確保されたことから、本町に対する地方交付税も一定程度の維持は見込まれると判断されます。

住民ニーズは多様化し、高齢化、物価の上昇から物件費や扶助費、公共施設の老朽化による維持管理経費などは近年増加傾向にあります。

投資的経費においては、橋梁長寿命化事業や道路の改修、町営住宅改修など町民生活に直結したインフラに対して長期的な機能維持を考慮した計画的改修が必要となっています。

本町の財政事情を認識した上で、長期的な視点

による持続可能な財政運営を基本に据え、経常経費の歳出抑制や優先度・緊急度の高い事業の選択と重点化をした上で、歳入の確保に努めた予算編成となりました。なお、今年度は町長改選期でありますので、人件費や扶助費をはじめとする義務的な経費、継続的な普通建設事業などを中心とした骨格予算となっています。

一般会計は45億1,100万円を計上し、前年度当初予算との比較では、1億5,500万円、3.3%減の予算となりました。

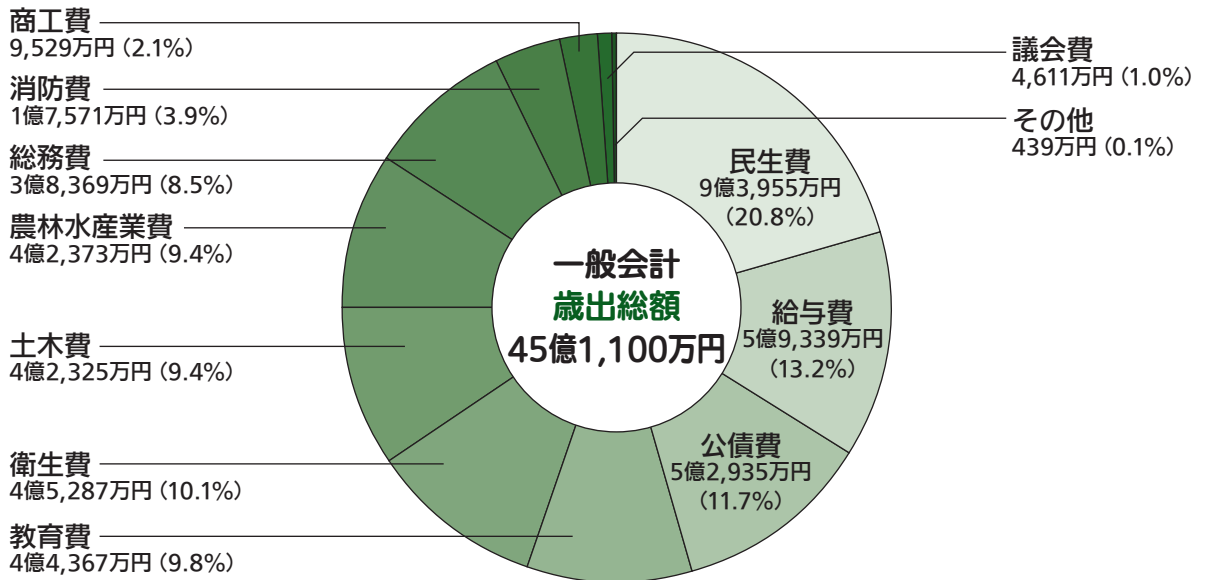
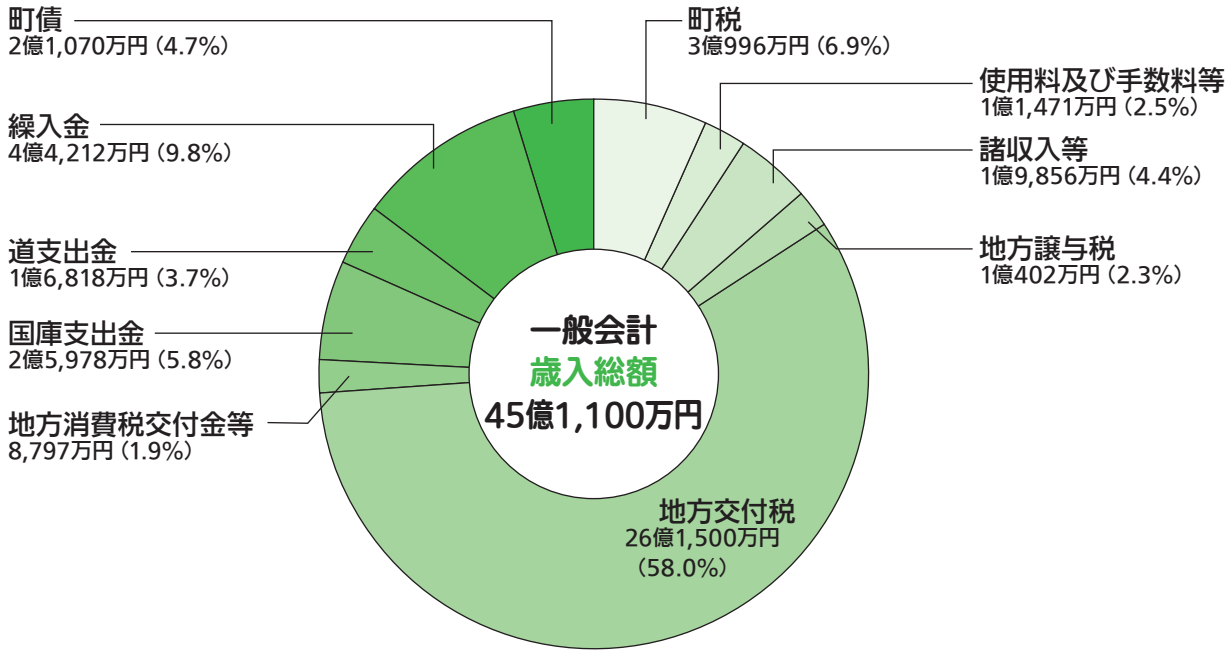
特別会計では、介護サービス事業特別会計で特別養護老人ホームのエアコン設置工事に620万円を計上しましたが、建物の屋根改修や業務用洗濯機の入替えが完了したことから0.6%減で前年度並みの予算となっています。

一般会計と4特別会計を合わせた新年度予算の総額は、前年度当初予算比2.8%減の54億620万円となりました。

事業会計は、前年度より簡易水道事業及び下水道事業を公営企業会計に移行し1年が経過します。持続可能な事業会計のあり方を引き続き見極めながらより一層効果的な運営を図ります。

会計別の予算

| 会計名 | 令和6年度予算 | 令和5年度予算 | 前年度対比 |
|--------------|------------|------------|-------|
| 一般会計 | 45億1,100万円 | 46億6,600万円 | △3.3 |
| 国民健康保険特別会計 | 4億3,970万円 | 4億6,320万円 | △5.1 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 6,850万円 | 6,090万円 | 12.5 |
| 介護保険事業特別会計 | 3億7,060万円 | 3億5,670万円 | 3.9 |
| 介護サービス事業特別会計 | 1,640万円 | 1,650万円 | △0.6 |
| 計 | 54億620万円 | 55億6,330万円 | △2.8 |
| 簡易水道事業会計 | 4億708万円 | 4億3,207万円 | △5.8 |
| 下水道事業会計 | 2億9,457万円 | 3億718万円 | △4.1 |



■歳入のあらまし

町税は、町民税については国際情勢による原料・燃料価格高騰の長期化が地域経済へもたらす影響が懸念され微減、固定資産税は、昨年度同水準を見込み、合計では前年度比1.1%減の3億996万円を計上。

地方交付税は、3.9%減の26億1,500万円を計上。うち普通交付税は、24億3,300万円、特別交付税は、置戸赤十字病院医療施設充実助成分、地域おこし協力隊員経費分などを見込み、1億8,200万円を計上。

国庫支出金は、デジタル基盤改革支援補助金2,130万円を新たに計上。

財産収入は、造林事業の減により素材の売払収入が減額となる見込みから、16.0%減の

5,315万円を計上。

寄附金は、「ふるさと納税」を含めて昨年同水準の2,057万円を計上。

繰入金は、財政調整基金より1億9,000万円、減債基金より2億円を繰入し、森林環境譲与税を財源とした未来への森づくり基金事業の増額分を含めて、4.7%増の4億4,212万円を計上。

町債は、過疎対策事業債が1億8,650万円、緊急自然災害防止対策事業債が2,000万円、臨時財政対策債420万円を合わせて2億1,070万円を計上。令和6年度末の町債残高は、現時点で40億2,387万円を見込んでいます。

■歳出の主な事業・経費は次ページへ

令和6年度の主な事業・経費

くらし
応援

定住・住環境対策制度

森と住まいの支援事業、住宅改修補助事業、空き家利用促進補助、住宅用太陽光発電システム設置助成などを継続します。

地域
活性化

地域おこし協力隊

今年度に任期満了を迎える隊員もいることから、引き続き地域の活性化に取り組み地元への定着化を推進するため、起業・事業継承支援補助として500万円を計上しました。

交通

地域交通の確保

北海道北見バス株式会社発行の1日バス乗り放題フリーパスチケット購入助成を今年度も実施します。

平成30年度から運行してきた地域巡回バスは、3月末で運行を終了し、新たに町内における移動手段の確保策として、ハイヤー利用料金助成事業を4月から開始するため、1,332万円を計上しました。

高齢者
福祉

老人ホーム運営の支援

老人ホーム運営の効率化を図るとともに利用者に対するサービスの質の向上が図られるよう、引き続き支援します。養護老人ホーム支援室前ホール空調設置工事に400万円を計上しました。

子育て

認定こども園運営の支援

認定こども園こどもセンターどんぐりの運営経費として1億9,496万円を計上し、保育料及び副食費の完全無償化を継続し、子育て環境の経済的支援の充実を図ります。

健康
づくり

保健・医療体制の充実

妊産婦が専門医療機関に受診するための通院費助成と妊産婦健康診査事業を産後ケア事業とともに継続し、支援の充実を図ります。

予防接種は、带状疱疹ワクチンの費用助成を実施します。

置戸赤十字病院に対しては、安心と安全、地域医療充実のための財政支援として1億1,000万円を計上しました。

歯科診療所においても引き続き歯科治療体制の充実を図ります。

産業
農林業

農業・林業の支援対策推進

農業関係は、道営事業として生産性の高い農業実現のため、基幹農道整備事業に1,497万円、拓実北地区及び南地区の農地整備事業に1,427万円、団体営事業として常盤地区営農用水施設改修に7,700万円を計上しました。

造林事業は、8,507万円を計上し、下刈りや除間伐など町有林の整備を進めます。森林環境譲与税を財源とした未来への森づくり基金事業も含め、計画的な森林整備を推進し、森林環境保全の維持に努めます。

商観
工光

空き店舗の利用、活性化

空き店舗の改装及び既存の店舗改装事業と元気だすべえ事業による起業応援金と合わせて、過疎化による商店街の空洞化を防ぐとともに、商工業の活性化を図ります。

観光関係は、勝山温泉ゆうゆの運営の安定化支援のため、指定管理委託料1,243万円を計上しました。また、温泉廃湯管の改修に180万円、源泉汲み上げに供する予備ポンプ、貴重品用ロッカー、業務用冷蔵庫を整備するため314万円を計上しました。

ごみ収集

じん芥収集車購入

ごみの効率的な収集を図るため、購入から12年が経過し老朽化したじん芥収集車を更新するため、2,002万円を計上しました。

道路橋梁
住宅

予防的修繕で安全なまちへ

土木関係は、町道置戸川南境野線の改修工事に3,000万円、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、中里18号橋の実施設計に460万円、愛の澤橋修繕工事に3,800万円を計上しました。また、橋梁の定期的な点検を実施するため、雄勝5線橋外4橋分の経費として220万円を計上しました。

境野地区の頻発する集中豪雨による被害を軽減するため、排水路や路面排水版を新たに設置するなど、境野地区道路等防災対策工事に2,200万円を計上しました。

町営住宅は、公進団地内4棟8戸の外壁と屋根の大規模改修に3,240万円を計上しました。

町内の施設等における耐震改修促進計画見直しのため300万円を計上しました。

冬期間に町民が利用する流雪溝の機能維持のため、放送システムユニット取替の費用として200万円を計上しました。

防災
消防

町民の安全・安心の確保

防災関係は、避難所としても利用される勝山公民館に災害等による停電時の電源確保のための電源切替装置設置工事に660万円を計上しました。

消防関係は、消防庁舎の講堂エアコン設置工事に170万円を計上しました。

学
校
教
育

教育環境の充実

置戸高校は、入寮する生徒を対象とした帰省旅費の助成とホストファミリー制度の実施など1,500万円を計上し、引き続き支援を継続します。

老朽化しているスクールバス「そよかぜ号」を地域巡回バスで使用していた車両と入れ替えて運行を継続します。

社
会
教
育

社会教育施設の整備

児童館及び放課後児童クラブは、全ての児童が利用できる新しい児童館の開設に向けた検討委員会を引き続き設置します。

公民館では、中央公民館の煙突修繕、勝山公民館の裏口床修繕などを実施し、施設の機能維持を図ります。

森林工芸館

オケクラフトの発展

オケクラフト誕生40周年を迎え様々な記念事業を実施しましたが、新たな10年に向かって地域ブランドとしてのオケクラフトのさらなる発展に向けた取り組みを推進します。

森林工芸館での各種作業機能向上に資する軸傾斜小型万能横切盤（ペティワーク）導入のため126万円を計上しました。

介
護
サ
ー
ビ
ス

特養ホームエアコン設置

介護サービス事業特別会計では、特別養護老人ホームのエアコン設置工事に620万円を計上しました。

簡
水
易
道

秋田浄水場計装設備更新

簡易水道事業会計では、秋田浄水場の機械計装設備の更新に3,140万円を計上しました。

下
水
道

浄化センターの耐震診断

下水道事業会計では、置戸浄化センターの耐震診断に4,100万円、下水道事業計画の変更に係る委託料として382万円を計上しました。

■まちの財政計画や予算については、企画財政課財政係までお問い合わせください。
(☎52-3312)

ハイヤー利用料金 助成事業のお知らせ

令和6年4月1日よりハイヤー利用料金を助成します！

助成対象の町民が乗車するハイヤー利用料金について、目的地までの乗車1回につき負担額を500円とし、それを超えるハイヤー利用料金は町がハイヤー会社に対して支払う事業を開始します。

対象となる方

70歳以上 すべての町民が対象

70歳未満 運転免許証を持たない又は自家用自動車を保有しない町民で、

- 身体障害者手帳の交付を受けている方
- 療育手帳の交付を受けている方
- 介護認定を受けている方

運転免許証を自主返納した町民



※年齢基準は、当該年度内に達する満年齢とし、年度の初日から適用します。

利用方法

- ①原則として、事前予約制とする。
- ②乗車の際に年齢がわかる身分証明書等を乗務員へ提示し、目的地を伝える。
- ③目的地に到着したら、500円を乗務員へ支払う。

利用可能なハイヤー会社

有限会社置戸ハイヤー ☎52-3414

利用可能時間

ハイヤー会社の営業時間内（8:00～22:00）
日曜日は除く

利用可能範囲及び用途

町内全域（町外利用不可）

用途制限なし

相乗り可

※目的地までのルートを大きく逸脱した場合は対象外とします。

例①

勝山方面に住んでいる対象者が、
拓殖の友人を乗せ、ほのかへ向かう



例②

中央公民館から、ゆうゆにいる
友人を迎えに行き、ほのかへ向かう



第46回町民憲章推進大会・第58回表彰式開催

第46回置戸町民憲章推進大会が、2月18日中央公民館で開催され、町民約120名が参加しました。この日は、北星学園大学社会福祉学部社会福祉学科准教授の畑亮輔氏が「これからも皆が安心して暮らせる置戸に向けて」と題し、講演を行いました。

今回は、講演内容の一部を紹介します。

安心できるまちづくり

安心できるまちづくりに向けて大切なことは、まず1つ目として、まちの資源を守ることです。その町の人がある町のものを使わないと資源は維持できないため、町民の皆さんが適切に利用し、資源を守ることが大切です。2つ目は、地域で支え合うこと。困りごとを抱えている人への支援を地域全体で考え、それぞれができる支援を行うなど、お互いの支え合う姿勢が町民の安心感へとつながります。3つ目は、世代を問わずみんなが安心できる地域をつくること。若い世代から高齢者までの世代がお互いに理解し、関心を持つことが重要です。

置戸町の目指すべき方向として、町民の皆さんがそれぞれの強みを生かしながらかつお互い支え合い、安心して住み続けられるまちを創造していくことなのではないかと思えます。町民の皆さんの「こんなまちにしたい」という気持ちからの取り組みが、安心して暮らせるまち、住み続けられるまち、その1歩へとつながると思えます。



■畑亮輔氏プロフィール

兵庫県神戸市生まれ。主な社会活動として札幌市地域福祉社会計画や成年後見制度利用促進計画の会長、鷹栖町地域福祉計画や地域福祉実践計画の委員長など、その他自治体や団体等主催の講演会講師を多く務める。



続く第58回置戸町表彰式では、各分野で町の振興発展に貢献された方に対し、その功績をたたえ、個人23名1団体が表彰・伝達されました。

まちづくり月記

置戸町長 深川 正美

バスを待つ新高校生の姿に「新年度だー頑張るぞ」と元気をもらう四月、異動等で着任された多くの方々が見えに来られます。

先月、中央公民館で「発達障がい」について講演を聴く機会がありました。この講師は二十数年前の管内のPTA研修会の講師で、教員として「校長室でお茶を飲むことが地域に開かれた学校だと勘違いしている保護者」、「きまりだからと生徒を指導できない先生」等々、歯に衣を着せず保護者や教員に堂々と話す姿に、私はこの先生が教える子どもたちがのびのびと学校に通う姿が想像され、「教育（教育者）には力がある」と胸が熱くなったことを忘れません。「ダメダメと子どもの個性を削って、小さなおりこうさんにするのではなく、障がいも含めた個性を認め、褒めて伸ばして苦手なことを克服しながら大きな人間にするのが教育だ」と教員を退職しても教育に対する情熱は変わらない先生だなど再会に感謝しました。

学校を卒業して社会人になっても様々な先生に会います。近所の人、高齢者や外国の方、子どもたちも私の知らない知識を持っていて、「え、本当」と驚くことも学びの一つです。そしてその人の発する思いや情熱に感動するのも学びです。あのひとまた会いたい、新たなことをもって知りたいたいという気持ちにさせるのが教育です。そんな魅力的な人は突然現れ、大概が笑顔が素敵なたちです。

さあ、春です。新しい出会いと発見を求めて今日は外へ出ましよう。

地域おこし協力隊活動日誌

＼ 初めての置戸の冬 /
地域おこし協力隊員 馬場 裕之

みなさんこんにちは。協力隊マネージャーの馬場です。早いもので置戸に来てそろそろ1年を迎えようとしています。

初めての置戸の冬。地元の九州では体験したことのない雪と寒さを楽しみ半分、怖さ半分のドキドキで迎えました。周囲の方々からは大丈夫？と声を掛けていただきましたが、除雪も含め楽しく過ごすことができています。1月末から大通り商店街で行われたキャンドルナイトでは、商工会や近隣の店舗の方々の協力もあり協力隊事務所でも初めてアイスクャンドルを制作しました。

また、ずっとやってみたかったワカサギ釣りも体験することができました。釣果はイマイチでしたが、とても楽しい時間でした。1月には

観光協会主催の氷上釣り大会も開催され、町内外から50名を超える方々にご参加いただきました。この冬の心残りはスキーを体験できなかったこと。これは来年の冬の楽しみです。

2月には秋田地区で行われたたふれあい昼食会にも参加させていただき、協力隊の活動報告を行いました。こちらもずっと食べてみたかったきりたんぼ鍋やとても美味しいいぶりがっこ入りポテトサラダを食べ、秋田のみなさんとお話できる貴重な機会となりました。

最後に告知です。4月13日の13時より中央公民館で協力隊の活動報告イベントを開催予定です。詳細は調整中ですが、各地区の皆さんにも見ていただける機会も作りたいと思っています。ぜひお越しください。



喜びと悲しみ(敬称略)

■ご出生おめでとうございます

○早川 拓馬 女児 千晴(ちせ) 中央 2/13
彩恵

■ご結婚おめでとうございます

○相澤 圭・石田 恵理 拓殖 2/15

■お悔やみ申し上げます

○西 和子 86歳 常楽園 1/28
○川又 茂 84歳 境野中央 1/28
○結城 修 70歳 境野中央 1/29
○高橋 義雄 87歳 緑栄 2/4
○高橋 美恵子 81歳 宮下 2/5
○奥原 昭代 81歳 拓殖 2/18
○奥山 富美子 90歳 秋田 2/26
○湊谷 弘子 90歳 境野親交 2/27

人の動き

●世帯数 1,354世帯(−4世帯)

●人 □ 2,590人(−6人)

●男1,194人(−6人)女1,396人(±0人)

令和6年2月29日現在()内は1月末比

置戸の情報をインターネットでチェック!



ひと、木と、おけと



ホームページ



YouTube

■今月号の表紙：3月15日、置戸中学校卒業証書授与式